

大和川で「天然アユ産卵場づくり」を試行 ～ 大和川に天然アユを 学官民連携の産卵場づくり ～



大和川の水質改善に伴い、天然アユが大和川に戻ってきています！
もっと天然アユが戻る状態を模索するため、「産卵場づくり」を試行しました。「産卵場づくり」とは、川底の石をスコップで掘り返すなど、アユが産卵しやすい状態にすることです。大阪市立大学、近畿大学、大和川釣り人クラブ、大和川天然アユ研究会が試行主体となり、大和川河川事務所等が協力して、
・平成24年10月27日(土) 晴 13:00～15:30 河内橋上流(柏原市古町～藤井寺市宝城寺) 参加者:約30名
・平成24年10月30日(火) 晴 13:00～15:30 瓜破大橋下流(大阪市平野区) 参加者:約20名
にて行いました。

産卵場づくり試行の様子

河床を耕耘して浮石状態にする

河内橋



耕した後、平らになるように河床の表面を足などで均す



瓜破大橋



河内橋は昨年平成23年10月22日(土)に産卵場づくり
試行を行い卵2個を確認しました。

☆後日、産卵等の追跡調査を大学等で行います。

今年もアユがコケを食べた
跡(ハ跡:黒くコケがはがれた
ところ)が見つかりました。
(河内
橋・瓜破大橋)

